**第1学年2組　国語科学習指導案**

平成　年　月　日（　）　　校時

授業者　教生　　　　　印

指導教員　　　　　　先生

1. 目標

　誰に、どんなことを知らせるのか内容を考えることが出来る。

1. 評価規準

【書】　伝えたい相手に応じて、経験したことから、嬉しかったことや楽しかったことを思い出し、必要な事柄を集めている。（書（1）ウ）

1. 展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な学習内容 | 指導・援助と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　最近の出来事を思い返して、クラス内で発表をする。  　C１　家族で沖縄県に行ったよ。シーサーが可愛かった。  　C２　北海道のおばあちゃん家に行って、いとこと遊んだよ。  ２　自分の気持ちを伝  えるために、どのような表現方法があるのか発表する。  C１　電話でお話をする。  C２　直接言う。  C３　お母さんが携帯電話でメールをしているのを見たことがあるよ。  嬉しかったことや楽しかったことを手紙に書こう！  ３　本時の学習課題をつかむ。  ４　先生の手紙を見て、手紙に執筆すべき内容を発表する。  　C１  　どこにいったの？  　C２  　何をしたの？  　C３  　いつのこと？  　C４  　誰といったの？  ５　人が書いた手紙にどのようなことが書いてあるのかを発表する。  ６　学習事項を活かして、自分に起こったことや、思いを分かりやすく人に伝えられるようにする。  ７　手紙には「いつどこで何をしたのか」、「自分の気持ち」を書く。場面に対応した絵があると、貰い手は手紙の内容の理解が容易になるし、貰った時嬉しいことを伝える。 | ・手紙に書きたい出来事  ・出来事の伝え方  ・手紙に書くべき事項の把握  ・手紙に明記すべき事項の確認  　いつ、どこで、何をした  　のかを手紙に書く。  ・書いてあった、伝えるべきこと  ・手紙の内容  【書】　伝えたい相手に応じて、経験したことから、嬉しかったことや楽しかったことを思い出し、必要な事柄を集めている。（書（1）ウ）  まとめ  手紙にはいつどこで何をしたのか、自分の気持ちを書く | ○最近起こった嬉しかったことや楽しかったことは何か質問をする。  ○嬉しかった出来事や楽しかった出来事をどのようにして伝えるのかを考える。  ○先生が児童宛てに不完全な手紙を書く。  ○児童が手紙の受け取り手になる立場になり、手紙の不足部分を指摘することで、書く立場になった時に必要なことが学べるようになる。  ○教科書の例を見て考える。ひろとくんとほんださんの手紙は、何を伝えたかったのかを考える。  ○自分の伝えたい事を思い起こす。  ○手紙に明記すべき事項の最終確認と、次々以降の学習活動について伝える。 | 4  4  2  10  8  10  8 |

備考　在籍児童数　35名

板書計画

